



## ゲーム型教材

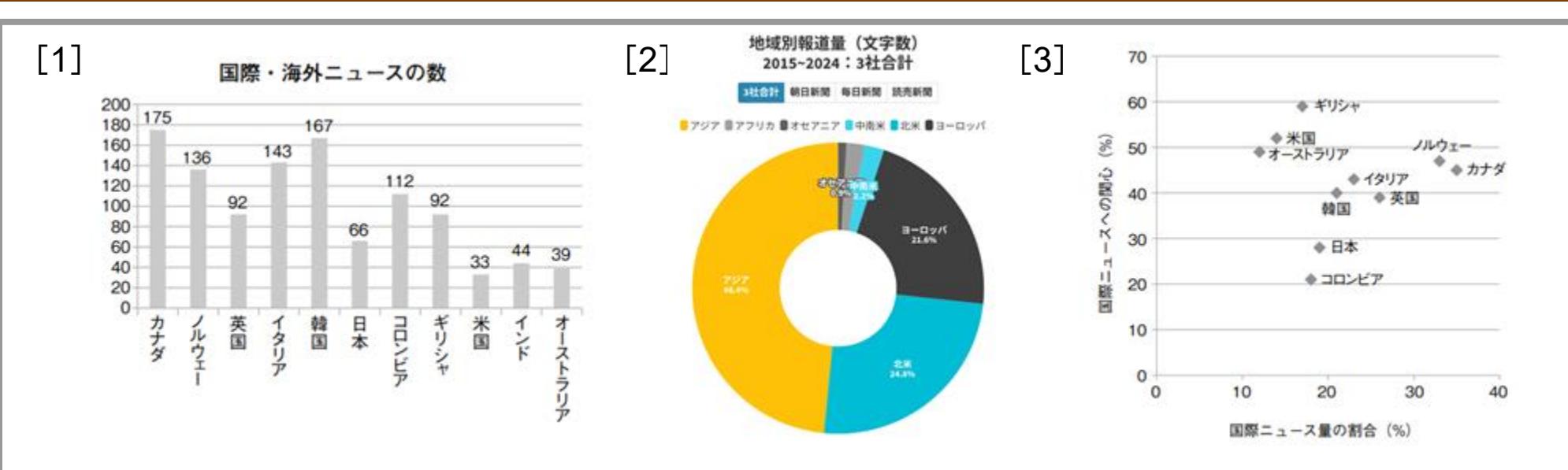
を開発して海外メディアを見る意識付けを行う  
ゲームを通して視野をグローバルに

大阪教育大学附属高等学校平野校舎 3年 小畠春翔 市千輝 長濱希

**【概要】**日本メディアによる国際報道の質と量は不十分であるという問題がある。そもそもこの問題は受け手の国際報道への関心が低いことが一因であるとわかった。グローバル化が進む今日、世界に関する知識が少ないという受け手の現状は受け手にとって今後様々な場面において不利になると予想される。そこで、受け手が国際報道や世界への理解に関心を持つきっかけが必要であると考え、特に「記者の報道」と「受け手の関心」の関係を探求し、受け手が能動的に国際報道を受け取り、海外メディアにも目を通す必要があることを学べるカードゲーム型教材を開発することにした。

## 研究背景・目的

- 世界のグローバル化が進む中で国際報道の重要性が高まっているが、日本メディアの国際報道は量が少なく、報道地域に偏りがある。 [1]
- 日本の受け手は国際報道への関心が低く、インターネットメディアの普及によってフィルターバブルの影響を受けるなど、関心の低下が進行していると考えられる。 [3]
- 教育機関では上記の問題がほとんど取り上げられず、生徒の間で興味や問題意識をもたらすためのツールの開発が必要だ。
- そこで本研究では中高生を対象に、日本メディアの現状について理解を得るとともに、海外メディアを通じて自発的に海外の情報を取得する行動を促すカードゲーム型教材の開発を目的とした。



## 研究内容

## ■本研究で開発するカードゲームに必要な学習要素の調査と絞り込み

日本メディアによる国際報道及びその受け手の現状やプレイヤーが学ぶべきメディアに関する知識等を把握するため、関連図書・論文・ウェブサイトなどの調査を行い、結果の分析から学習要素を絞り込んだ。

## ■教材の試作と補助資料の作成

上記の調査結果を踏まえ、カードゲーム型教材の試作を行った。

## 研究成果



- ゲームの特徴**
- ニュース解説系動画配信者”、“記者”、“受け手”、それぞれの立場にプレイヤーが立ち、日本メディアの国際報道の現状を考える
  - “国際報道を見る必要性”を考える
  - 海外メディアへの関心を高める
  - 白熱した推理・心理戦

## ■試作品の実証試験と評価

試作品について、本校生徒(9名)を対象にテストプレイを行った。プレイ後の評価アンケートでは、「国際報道及び海外メディアを見る必要性が理解できたか」「ゲームを楽しくプレイできたか」等の問いには前向きな回答が多く得られ、特に、「日本メディアによる国際報道の量が少ない理由が理解できたか」という問には「そう思う」とする回答が多く(75%)、日本メディアの国際報道における現状に一定の理解がなされたと考えられる。一方で、ルールが「わかりにくい」もしくは「少しわかりにくい」とする回答が多く(合わせて50%)、「海外メディアを見ようと思う」と回答した生徒は62%に留まった。

## まとめ

**【展望】**今までの成果は、日本メディアにおける国際報道及びその受け手の現状についての調査を踏まえたカードゲーム型教材のプロトタイプの制作と効果検証である。本研究で開発した海外メディアを活用する意識付けを行うためのカードゲーム型教材は、ゲームのブラッシュアップを行い、中学校、高等学校への出前授業等での活用を目指す予定だ。

**【研究によってできる理想の世界】**メディアには国家の外交政策を左右する力がある。もし、自国メディアしか見ていない場合、情報の偏りが発生してしまう。日本国内で海外メディアを普及させることにより、世論がより客観的な目線で外交政策の議論ができるようになる。また、このカードゲーム型教材を通して受け手の国際報道への関心が高まり、日本の国際報道及び海外メディアを見る動機づけとなって、そこで得た知識が人生の糧になることを願う。

## 参考文献・謝辞

- [1]、[3] 林香里 (2015) 「日本におけるメディアの公共性を探して—国際比較調査結果から」 学術の動向2015.12 特集2 グローバル化する中での国際報道と公共放送の役割 P64  
[2] クリヤマタクミ (2025) .「10年間の国際報道を振り返る」.GLOBAL NEWS VIEW. <https://globalnewsview.org/archives/987493617>. (参照 2025-07-26).  
シバタヒロキ (2016) .「日本での国際報道の扱われ方」.GLOBAL NEWS VIEW. <https://globalnewsview.org/archives/4183>. (参照 2025-07-26).  
伊藤高史 (2008) 「国家の外交政策に対するメディアの影響力と『CNN効果』」 創価大学社会学会 SOCIOLOGICA 1/2号,32巻, p.1-20  
金子喜三「国際報道の現状と検閲の態様」國士館大學政經論叢 卷 7, 発行日 1968-01  
本研究の遂行に当たり、貴重なご助言・ご協力を頂きました先生方、研究に参加頂きました方々に厚く御礼申し上げます。